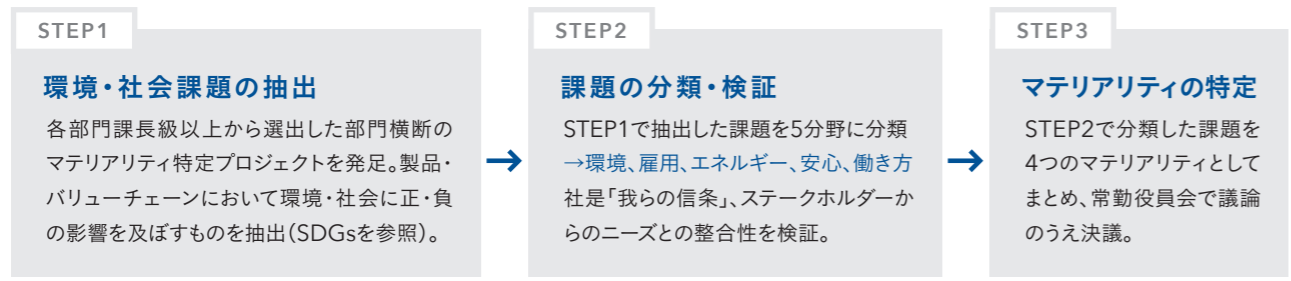


日東精工は地域の雇用創出、産業振興を目的として創業し、社是「我らの信条」のもと創業の地・京都府綾部市よりモノづくりを通じて世界中のお客さまの課題の解決に貢献してきました。2019年にはマテリアリティ(重要課題)を特定し、それに基づき中期経営計画の戦略テーマを策定しています。会社の持続的な

成長および持続可能な社会の実現のため、サステナビリティ委員会を中心とした体制のもとサステナビリティ経営を推進しています。当社はサステナビリティ方針は定めず、社内で定めるサステナビリティ経営規定に基づき、サステナビリティに関する考え方を経営方針、中期経営計画へ組み込んでいます。

マテリアリティの特定プロセス



戦略

企業の持続的な成長および持続可能な社会の実現のため、当社が存在する価値を改めて明確にするべく重要課題を抽出し、4つのマテリアリティ「お客さまとの共有」「環境共生」「地方創生」「人財育成」を特定し、重点的に取り組んでいます。

リスク管理

サステナビリティ委員会が監督する各推進活動においては、リスクマネジメント委員会と連携しています。リスクマネジメント委員会が各部門でリスクを抽出し、その発生頻度、影響度を評価したリスクカタログを作成し、サステナビリティ委員会と共有しています。

指標と目標

4つのマテリアリティに対する取り組みとして中期経営計画「Mission G-final」において4つの戦略テーマを掲げており、2028年までのサステナビリティ目標は中期経営計画の経営目標に組み込んでいます。中期経営計画に基づき各事業(本)部でアクションプランを策定し、NPI*を用いて下位の部、課で指標管理を行っています。NPIは毎月社内に配信し、役職者・一般従業員が都度進捗状況を確認して取り組み内容の見直しができるようにしています。

*NPI…「NITTOSEIKO Progress Indicator」の略で、アクションプランおよびそれに基づく取り組みを体系化し、進捗率を数値化、可視化したもの。

ガバナンス

サステナビリティ委員会は、取締役会による監督のもと、代表取締役社長を委員長とし、社外取締役を含む役員で構成しています。原則年2回開催し、サステナビリティに関わる取り組みの諮問機関として、関連する方針や目標の進捗管理・施策の審議等の機能を担っています。サステナビリティ委員会の事務局にはESG・IR戦略室を置き、サステナビリティ委員会の監督のもと、

推進担当会議体が推進活動ごとに取り組み計画の立案・実行などの業務を執行しています。事務局であるESG・IR戦略室はIR業務も担い、投資家との対話内容の戦略への反映や、中長期的な企業価値向上に向けて経営基盤となる非財務面でのアプローチを行います。

サステナビリティ経営のガバナンス強化の変遷



サステナビリティ推進体制

